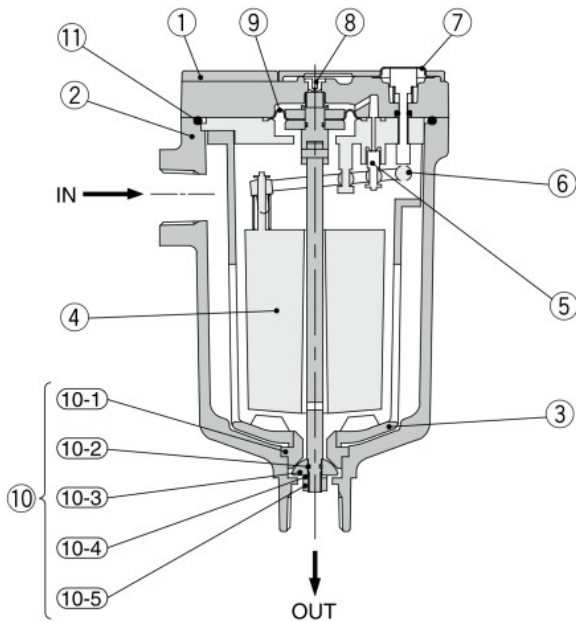


構造図



構成部品

番号	部品名	材質	備考
1	ボディ	アルミニウム合金	焼付塗装
2	ハウジング	アルミニウム合金	焼付塗装
3	ドレンガード	アルミニウム合金	焼付塗装
4	フロート	発泡ゴム	
5	パイロットバルブ	ステンレス鋼+NBR	
6	テコ	樹脂	
7	フラッシュボタン	黄銅	
8	オリフィス	ステンレス鋼	
9	ダイヤフラム	NBR	

交換部品

番号	部品名	品番	備考
10	主弁交換用キット	ADH-D400	(10-1)~(10-5)までの部品のセット
11	Oリング	KA00793	G85 材質:NBR

注) 部品の交換は、取扱説明書に記載の手順で行ってください。
また、他の部分の分解は絶対に行わないでください。

⚠️ 製品個別注意事項

ご使用前に必ずお読みください。
安全上のご注意につきましてはP.9、圧縮空気浄化機器／共通注意事項につきましてはP.10~12をご確認ください。

設計上のご注意

⚠️ 注意

- ① 空気圧力が1.6MPaを超えないところにご使用ください。
この値を超えますと事故や故障の原因となります。
- ② 空気圧力が0.05MPaおよびエアコンプレッサの吐出流量が50L/min (ANR) 以上が必要です。
この値を下回るとエアがドレン排出口から吹き出し状態になります。
- ③ 圧縮空気温度および設置場所の周囲温度を5~60℃の範囲としてください。
この範囲を超えますと事故や故障の原因となります。
- ④ 腐食性ガス、可燃性ガスおよび有機溶剤が圧縮空気中および周囲の雰囲気中に含まれるところでのご使用は避けてください。

選定

⚠️ 注意

- ① 排出可能なドレン量は、最大400cc/minです。
この値を超えて使用しますとドレンが出口側へ流出する恐れがあります。

配管

⚠️ 注意

- ① ドレン入口配管は1/2^B以上の口径とし、立上がり配管はしないでください。
- ② ドレン配管を行う場合は、配管の内径8mm以上、長さ10m以内としてください。また立上がりや屈曲部がなく出口方向に傾斜をつけた配管形状にしてください。また、ドレンが激しく吹き出すことがありますので、出口配管は確実に固定してください。

取付け

⚠️ 注意

- ① ドレン出口を下側にして垂直に取付けてください。
垂直方向の傾きの許容差は5°です。他の方向に取付けてのご使用はできません。
- ② メンテナンスできるように必ず上面に200mm以上のスペースをあけてください。
- ③ エアコンプレッサの近くに設置する場合は、振動が伝わらないように取付けてください。
- ④ ドレン入口にはメンテナンスできるように必ずバルブを取付けてください。
バルブはボールバルブを使用しボールの穴径が15mm以上のものを使用してください。(付属品にボールバルブ配管セットがあります。)

取付け

⚠️ 注意

- ⑤ 本機へのドレンの流入量が少ない場合、ブリードバルブを開け、ドレンが流入しやすいように調節してください。

保守点検

⚠️ 注意

- ① ドレンの排出状態は必ず定期的(1日1回以上)に確認してください。
また、その際フラッシュボタンを押して排出弁の洗浄(フラッシング)を行ってください。
- ② 本機のパイロット排気は外形寸法図に示された位置から行われます。排気口は絶対にふさがらないでください。
また、ゴミ等で排気口がふさがらないよう清掃してください。
- ③ 1mmを超える固形異物が流入しますと主弁をふさいでしまうことがあります。
本機内圧をOMPa(大気圧)にもどしてから、ボディ部の六角穴付ボルト(M6)を外し内部を水あらいし、主弁をふさいでいる固形異物を取除いてください。
- ④ 使用中、本製品にドレンの流入がしにくい場合があります。その様な場合、ブリードバルブの開度を調節し、ケース内の圧力を少し下げること、ドレンが流入しやすくなります。

HAA
HAW
AT
IDF
IDU
IDF
IDF
□FS
IDFC
IDFA
IDFB
IDH
ID
IDG
IDK
AFF-D
AM□-D
AFF
AM□
AMG
AFF
AM
AMD
AMH
AME
AMF
ZFC
SF
SFD
SFDA
LLB
AD□
GD